

神戸J1初制覇

クラブ創設29年目



サッカーJ1で初優勝を果たし喜ぶ神戸の選手たち(25日、ノエビアスタジアム神戸)

サッカーの明治安田J1リーグ1部(J1)第33節最終日は25日、各地で7試合があり、ヴィッセル神戸がクラブ創設29年目で初優勝を果たした。本拠地ノエビアスタジアム神戸(神戸市兵庫区)で名古屋グランパスを2-1で退け、勝ち点68として2位横浜F・マリノスを振り切った。

今季は前線から相手ボールを奪いにいくハイプレスを貫き、攻めては大迫勇也、武藤嘉紀の元日本代表コンビが核となってリーグトップクラスの得点力を誇った。一度も連敗することなく上位を維持し、9月に首位に再浮上すると、そのまま逃げ切った。

ヴィッセル神戸はクラブ発足後の初練習を予定した1995年1月17日に阪神・淡路大震災が起こり、被災地の復興とともに歩んできた。2度の2部降格を経験し、2020年元日に天皇杯全日本選手権決勝を制して初タイトルを獲得。これまでに元日本代表の三浦知良や元スペイン代表アンドレス・イニエスタらが在籍した。